

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	アントレプレナーシップ演習		学科名	ビジネス・コミュニケーション学科		授業方法	演習	
担当教員	荒木 美英子		学年・学期	2学年	時間数	60時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	起業家精神(アントレプレナーシップ)を学び、地域や社会、身近な生活の中にある課題を発見し、それを解決するためのアイデアを形にする力を養う。 また、アイデア発想だけでなく、顧客理解、価値提案、収益化、チーム活動、プレゼンテーションまでを実践的に学び、将来、企業内で新しい企画を生み出す力や、自ら行動する力を身につける。 身近な商品・サービスの観察 地域や企業の課題に関する情報収集 発表準備、企画書作成							
到達目標	アントレプレナーシップの意味と重要性を説明できる。 身近な課題や社会課題を発見し、整理できる。 課題解決のためのビジネスアイデアを考案できる。 顧客視点で価値を考え、簡易的なビジネスモデルを設計できる。 チームで協働しながら企画を改善できる。 プレゼンテーションを通して自分たちの提案を相手に伝えることができる。							
授業計画・内容								
第1週	オリエンテーション／授業の目的を知る			第16週	前期の振り返りと後期の目標設定			
第2週	アントレプレナーシップとは何か			第17週	マーケティングの基礎を取り入れる			
第3週	身近な成功事例を知る			第18週	商品・サービス設計			
第4週	社会課題・地域課題を見つける視点			第19週	価格設定の考え方			
第5週	課題発見ワーク① 身の回りの不便を探す			第20週	販売方法・届け方を考える			
第6週	課題発見ワーク② 誰の困りごとかを考える			第21週	広報・PRの考え方			
第7週	アイデア発想法① 発想を広げる			第22週	収益化の仕組みを考える			
第8週	アイデア発想法② 解決策を形にする			第23週	実現可能性を検討する			
第9週	顧客視点を学ぶ			第24週	チームでの役割分担とプロジェクト管理			
第10週	ターゲット設定の基本			第25週	ヒアリング・アンケート調査			
第11週	価値提案を考える			第26週	企画改善ワーク			
第12週	競合・代替手段を考える			第27週	最終企画書作成①			
第13週	簡易ビジネスモデルの基礎			第28週	最終企画書作成②／プレゼン資料作成			
第14週	中間企画書の作成			第29週	最終発表会			
第15週	前期中間発表			第30週	総まとめ・振り返り			
評価方法	授業参加・取り組み姿勢:20% ワークシート・課題提出:25% 中間発表・企画書:20% 最終発表・最終企画書:25% リフレクション(振り返り):10%							
教科書 教材など	担当教員作成のワークシート 担当教員作成のオリジナルスライド資料 必要に応じて新聞記事、企業事例、地域課題資料等							
実務経験	国家資格キャリアコンサルタントとして、個人のキャリア形成支援、意思決定支援に従事。					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	デジタルマーケティング		学科名	ビジネス・コミュニケーション学科		授業方法	講義	
担当教員	佐藤 聡、荒木 美英子		学年・学期	2学年	時間数	120時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	1年次に習得したWebマーケティング・SEO・Webライティング・Web分析・Webデザイン・Webコーディング・WordPressの知識とスキルを統合し、実際に公開・運用するWebサイトの制作・改善プロジェクトを通じて実務レベルの思考力と実践力を養う。 クラス全員でひとつの実案件(SSCスマートウェブアカデミーの教育機関向け特設サイト)に取り組み、制作・コンテンツ・SNS運用・データ分析・マーケティング戦略の各チームに分かれて役割を担う。対面授業では各チームの進捗共有・相互フィードバック・次のアクション確認を行い、授業時間内での制作・運用活動を積み重ねる。							
到達目標	・実在するWebサイトの制作・運用・改善を一貫して経験しWebマーケティング実務のプロセスを体得する ・チームの中で自身の役割を全うしながら、他領域への理解と連携力を養う ・データに基づいた課題発見・施策立案・効果検証のサイクルを実践できるようになる ・社会人の立場として活用できる実績・ポートフォリオを完成させる							
授業計画・内容								
第1週	オリエンテーション 校外学習		第16週	各チームによる課題対応(後期施策の推進開始)				
第2週	【オンライン】オリエンテーション		第17週	各チームによる課題対応				
第3週	各チームによる課題対応		第18週	各チームによる課題対応 【対面授業⑥】各チーム進捗発表・フィードバック・アクション確認				
第4週	各チームによる課題対応		第19週	各チームによる課題対応				
第5週	各チームによる課題対応		第20週	各チームによる課題対応				
第6週	各チームによる課題対応		第21週	各チームによる課題対応 【対面授業⑦】各チーム進捗発表・フィードバック・アクション確認				
第7週	各チームによる課題対応 【対面授業②】各チーム進捗発表・フィードバック・アクション確認		第22週	各チームによる課題対応				
第8週	各チームによる課題対応		第23週	各チームによる課題対応				
第9週	各チームによる課題対応		第24週	各チームによる課題対応 【対面授業⑧】各チーム進捗発表・フィードバック・アクション確認				
第10週	各チームによる課題対応 【対面授業③】各チーム進捗発表・フィードバック・アクション確認		第25週	各チームによる課題対応				
第11週	各チームによる課題対応		第26週	各チームによる課題対応				
第12週	各チームによる課題対応		第27週	各チームによる課題対応 【対面授業⑨】各チーム進捗発表・フィードバック・アクション確認				
第13週	各チームによる課題対応 【対面授業④】各チーム進捗発表・前期発表に向けた最終調整		第28週	各チームによる課題対応・後期発表資料の準備				
第14週	各チームによる課題対応・前期発表資料の準備		第29週	各チームによる課題対応・後期発表資料の最終仕上げ				
第15週	各チームによる課題対応・前期発表資料の最終仕上げ		第30週	【後期発表会】個人プレゼン				
評価方法	出席(10%)、プロジェクト貢献度(50%)、プレゼン発表(40%) 【前期試験プレゼンテーマ】自チームの取り組み・KPI進捗・後期改善方針の発表 【後期試験プレゼンテーマ】1年間のプロジェクト成果・個人の学び・キャリアへの展望の発表							
教科書 教材など	1年次に使用したe-Learningコンテンツ(動画・小テスト)を必要に応じて参照・復習用として利用可。 担当講師のオリジナルスライド							
実務経験	約16年に渡るWebマーケティングコンサルティング経験					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	マーケティング演習	学科名	ビジネス・コミュニケーション学科			授業方法	講義
担当教員	中山 顕作、荒木 美英子	学年・学期	2学年	時間数	60時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	「便利な使いやすい人材にならない」をスローガンに、マーケティングの本質である「価値創造と差別化」について徹底的に考え抜く。生成AI時代における人間固有の価値とは何かを問い続け、AIには代替できない思考力・判断力・創造力を持つ人材の育成を目指す授業。 前期は「解体編」として、マーケティングの常識やAI万能論を批判的に検証し、後期は「構築編」として自分だけの価値を生み出す力を鍛える。ディベート・ロールプレイ・実地リサーチなど、体験型ワークショップを中心としたインタラクティブな授業設計。身近な消費体験やアルバイト経験を題材に、マーケティング思考を「自分ごと」として体得する。						
到達目標	生成AIを「使いこなす」だけでなく、AIにはできない問いの立て方・価値判断の軸を持つ 身近な消費体験から本質を抽出し、マーケティング思考を日常に応用できる 批判的思考を養い、データ・トレンド・成功事例を鵜呑みにしない判断力を身につける 自身の考えを論理的に組み立て、他者と議論しながら磨き上げる力を獲得する						
授業計画・内容							
第1週	前期「解体編 - 常識を壊し、問いを立てる」 AI時代に「考える人材」が求められる理由	第16週	後期「構築編 - 自分だけの価値を生み出す」 「あなたは何屋か？」を定義する【対面】				
第2週	マーケティングの「正解」を疑え【対面】 フレームワーク依存の落とし穴	第17週	「誰に届けるか」を1人まで絞り込む ペルソナの先にあるリアルな顧客像				
第3週	バズれば勝ち？ SNSマーケティングの幻想と現実	第18週	市場は「見つける」のではなく「作る」 ゼロから需要を生んだ事例研究				
第4週	バズれば勝ち？ SNSマーケティングの幻想と現実	第19週	自分の「当たり前」が武器になる 独自の強みの発掘ワークショップ				
第5週	データが見せる幻 数字に騙されない思考法	第20週	AIを味方につける価値設計 人間×AIの最適な役割分担				
第6週	「みんなやっている」に潜む罠 同調圧力とマーケティング	第21週	ストーリーで売る なぜ人は物語に心を動かされるのか				
第7週	ブランドは広告では作れない 体験と信頼の設計思想	第22週	値段の付け方で世界が変わる プライシング戦略の実践				
第8週	生成AIはマーケターを殺すのか？ AIにできること・できないことの境界線	第23週	社会課題をビジネスに変える 「良いこと」で「稼ぐ」は矛盾しない				
第9週	「安ければ売れる」は本当か？ 価格と価値の心理学	第24週	リソースがないなら知恵を使い 制約条件下の意思決定訓練				
第10週	成功事例という名の思考停止 なぜ模倣は失敗するのか	第25週	10年後の業界地図を描く 未来予測と逆算思考の実践				
第11週	コンビニから学ぶマーケティングの本質 身近なビジネスの裏側を読む	第26週	アルバイト先を変革せよ【対面】 身近なビジネスの改善提案ワーク				
第12週	「差別化」が差別化にならない理由 独自性の本当の意味	第27週	あなた自身をマーケティングする セルフブランディングの設計				
第13週	消費者の「言っていること」と「やっていること」のズレ 【対面】行動観察の技法	第28週	事業計画を30分で作る 実現可能性とビジョンの両立				
第14週	前期の統合ディベート： AIはマーケターに取って代われるか？	第29週	最終プレゼン： 「AI時代に私が届ける価値」				
第15週	前期のまとめ(テスト実施)	第30週	後期のまとめ(テスト実施)				
評価方法	前期・後期共通(100点満点) ・出席・授業態度：50% (議論・ディベートへの積極的な参加 ・他者の意見への建設的な批判 ・ワークショップでの発言と貢献の質) ・試験：50% (着眼点の独自性 ・論理展開の妥当性 ・実現可能性との向き合い方 ・AI活用と独自思考の統合力)						
教科書 教材など	教科書は使用しない 参考文献は適宜提示 ケース教材(実際の企業・身近なビジネスの成功・失敗事例) 生成AIツール(Claude、ChatGPT等)を授業内で実際に使用 現役経営者・起業家のインタビュー記事や講演動画						
実務経験	外資系企業でのマーケティング実務、起業経験				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	PBL実践		学科名	ビジネス・コミュニケーション学科		授業方法	演習	
担当教員	有田 裕一		学年・学期	2学年	時間数	120時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	以下の内容で構成する社会課題の課題設定から解決策策定・社会実装を個人ワークを通じて実践する。 ①1年次習得のビジネススキルの実践。 ②仮説の裏付けや社会実装のための自律的フィールドワーク計画・段取り・実践。							
到達目標	①前期末に岡山イノベーションコンテストにエントリーする。 ②顧客分類・環境分析、SWOT分析、ロジックツリー、データ収集・分析等のビジネスフレームワーク(以下BFWと略す)を習得、実践できる人材の育成。 ③ビジネスパーソンや行政にインタビューを企画し、趣旨を伝え、ご協力いただける人材の育成。							
授業計画・内容								
第1週	イノベーションコンテスト 課題発見(個人ワーク)		第16週	BFW1スタバVSドトール なぜ共存？				
第2週	イノベーションコンテスト 課題発見(個人ワーク)		第17週	BFW2スタバVSドトール 内部の強み・弱みは？				
第3週	イノベーションコンテスト 課題発見(個人ワーク)		第18週	BFW3スタバVSドトール 外部の機会・脅威は？				
第4週	イノベーションコンテスト 仮説・裏付け(個人ワーク)		第19週	BFW4スタバVSドトール 社会の流れとの相性は？				
第5週	イノベーションコンテスト 仮説・裏付け(個人ワーク)		第20週	BFW5スタバVSドトール お互いの脅威とは？				
第6週	イノベーションコンテスト社会実装(個人ワーク)		第21週	BFW6スタバVSドトール 強みの源泉は？				
第7週	イノベーションコンテスト社会実装(個人ワーク)		第22週	BFW7スタバVSドトール 顧客は誰？				
第8週	イノベーションコンテスト中間リハーサル(個人ワーク)		第23週	BFW8スタバVSドトール 商品・価格・雰囲気は？				
第9週	イノベーションコンテストリハーサル/コンテスト中間発表(1, 2年合同)		第24週	BFW9スタバVSドトール 顧客行動分析				
第10週	イノベーションコンテスト修正/社会実装実践(個人ワーク)		第25週	岡山イノベーションコンテスト振り返り				
第11週	イノベーションコンテスト修正/社会実装実践(個人ワーク)		第26週	BFW10スタバVSドトール 新しいカフェチェーンを出すなら？				
第12週	イノベーションコンテスト修正/社会実装実践(個人ワーク)		第27週	生成AI プロンプトエンジニアリング①				
第13週	イノベーションコンテスト学科内発表		第28週	生成AI プロンプトエンジニアリング②				
第14週	イノベーションコンテスト最終修正		第29週	生成AI プロンプトエンジニアリング③				
第15週	イノベーションコンテスト最終修正/エントリー		第30週	生成AI プロンプトエンジニアリング④				
評価方法	コンテスト提出(20%) コンテスト提出内容講師評価(20%) コンテスト成績(20%) BFWへの取り組み(20%) 規律(出欠)(20%)							
教科書 教材など	担当教員によるスライド、chatGPT有料版							
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目			

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	データサイエンス基礎	学科名	ビジネス・コミュニケーション学科			授業方法	講義
担当教員	有田 裕一	学年・学期	2学年	時間数	60時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	1年次に習得した技術を使って課題の設定からデータ分析・洞察の発見までを個人ワークを通じて実践する。さらに非構造化データの分析やデータ要約分析の理論修得と実践を行う。 ①「統計データ分析コンペティション」への論文エントリー。 ②生成AIを使ったモデル作成とファインチューニング理論の習得と実践。 ③データの要約や分類理論の習得と実践						
到達目標	①生成AIに頼ることなく自分の主張や根拠を設定、裏付けることができる人材の育成。 ②自分の主張や根拠を裏付けるデータを自律的に探索・整形できる人材の育成。 ③目的変数のないデータを要約・分析できる人材の育成。 ④分析モデルを改良し、モデル精度を評価・改善できる人材の育成。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション 統計データ分析コンペ優秀作品解説		第16週	主成分分析(PCA)			
第2週	ケーススタディ:美容サロン出店意思決定モデルを作ろう①(個人ワーク)		第17週	主成分分析(PCA)＋課題2			
第3週	ケーススタディ:美容サロン出店意思決定モデルを作ろう②(個人ワーク)		第18週	因子分析(FA)			
第4週	ケーススタディ:美容サロン出店意思決定モデルを作ろう③(個人ワーク)		第19週	因子分析(FA)＋課題3			
第5週	ケーススタディ:美容サロン出店意思決定モデルを作ろう④(個人ワーク)＋課題1		第20週	回帰モデルの改良(多重共線性・変数選択)			
第6週	論文作成(テーマ選定)		第21週	回帰モデルの改良(多重共線性・変数選択)＋課題4			
第7週	論文作成(テーマ選定)		第22週	ロジスティック回帰分析・多クラス分類			
第8週	論文作成(SWOT分析、ロジックツリーを使ったテーマ選定)		第23週	ロジスティック回帰分析・多クラス分類＋課題5			
第9週	論文作成(アジェンダ、方針・STEP作成)		第24週	決定木分析			
第10週	論文作成(リサーチデザインとデータ抽出)		第25週	決定木分析＋課題6			
第11週	論文作成(リサーチデザインとデータ抽出)		第26週	ランダムフォレスト・アンサンブル学習			
第12週	論文作成(データ分析と評価)		第27週	ランダムフォレスト・アンサンブル学習＋課題7			
第13週	論文作成(中間報告会他)		第28週	因子分析・主成分分析課題とその後解説1			
第14週	論文作成(修正)		第29週	多クラス分類課題とその後解説2			
第15週	論文作成(完成・エントリー)		第30週	決定木・ランダムフォレスト課題とその後解説3			
評価方法	論文提出・評価・コンペ成績(50%) 課題(30%) 規律(出欠、提出期限厳守)(20%)						
教科書 教材など	担当教員によるスライド、chatGPT有料版						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	ビジネスマナー	学科名	ビジネス・コミュニケーション学科			授業方法	講義
担当教員	岡田 かおり	学年・学期	2学年	時間数	60時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	サービス接客検定3級(3級合格者は2級、準1級)合格に向け、公式テキストや過去の実問題集を使用して、取得するための演習を行う。						
到達目標	サービス接客検定3級の取得 3級合格者は2級、準1級取得						
授業計画・内容							
第1週	サービス接客検定受験要項説明		第16週	2級第62回 解答・解説			
第2週	公式テキスト II 専門知識(1)サービス知識 (2)従業知識 の説明		第17週	2級第61回 解答・解説			
第3週	公式テキスト III 一般知識(1)社会常識 の説明		第18週	2級第60回 解答・解説			
第4週	公式テキスト IV 対人技能(1)人間関係 (2)接客知識 の説明		第19週	2級第59回 解答・解説			
第5週	公式テキスト IV 対人技能(3)話し方 の説明 の説明		第20週	2級第58回 解答・解説			
第6週	公式テキスト IV 対人技能(4)服装 V 実務技能(1)問題処理 の説明		第21週	2級模擬試験 解答・解説			
第7週	公式テキスト V 実務技能(2)環境整備 (3)金品管理 の説明		第22週	2級第68回 解説 準1級 面接試験対策			
第8週	公式テキスト V 実務技能(4)金品搬送 (5)社交業務 の説明		第23週	準1級 面接試験対策			
第9週	3級第67回 解説 主な接客用語 ロールプレイング		第24週	準1級 面接試験対策			
第10週	2級第64回 解答・解説		第25週	準1級 面接試験対策			
第11週	2級第64回 解答・解説		第26週	準1級 面接試験対策			
第12週	2級第63回 解答・解説		第27週	冠婚葬祭と贈答のマナー			
第13週	2級第63回 解答・解説		第28週	冠婚葬祭と贈答のマナー			
第14週	前期試験対策		第29週	お茶のおもてなし			
第15週	前期試験 前期のふりかえり		第30週	学年末試験 一年間のふりかえり			
評価方法	前期試験・学年末試験・検定受験・検定取得、ファイル内容、授業態度、出席状況による総合評価。* 評価目安: 前期学年末試験・出席・ファイル(70%) 検定受験取得(30%)						
教科書 教材など	サービス接客検定公式テキスト3級 サービス接客検定3級実問題集第58-64回 サービス接客検定1-2級実問題集第58-64回 その他講師作成プリント						
実務経験	株式会社岡田歯車工作所にて総務・経営33年 秘書検定・サービス接客検定準1級審査員15年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	ビジネスソフト演習		学科名	ビジネス・コミュニケーション学科		授業方法	演習	
担当教員	有田 裕一		学年・学期	2学年	時間数	60時間	必修・選択	必修
授業概要・ 授業内容	セキュリティが厳しくMicrosoft office以外のソフトウェアが使用できない業界・事業所で即戦力+αで働くためのexcel、word技術を習得する。							
到達目標	①パワークエリを使用し、データ読み込み、整形が自由にできる人材の育成。 ②excel データ分析・ソルバーを使用し、グラフ作成、データ分析できる人材の育成。 ③google スプレッドシート・ドキュメントの機能の相違点を理解し、適宜使い分けられる人材の育成。							
授業計画・内容								
第1週	オリエンテーション&基本操作(復習ドリルあり)		第16週	word ページレイアウト(余白、ページ番号)・ヘッダー・フッター設定・セクション・表				
第2週	Power Query ① データ取り込み(文字化け/型/更新)		第17週	word 見出し・目次・図表番号				
第3週	Power Query ② クリーニング(整形の実践)		第18週	word excelデータをwordに挿入・グラフや表をwordに挿入				
第4週	Power Query ③ 結合・集計(Merge/Append/Group)		第19週	word 差し込み印刷				
第5週	関数ツールキット(IF / XLOOKUP / SUMIFS) + Excel⇔Sheets比較		第20週	word 共同編集+Word⇔Docs共有比較 課題5				
第6週	Excel⇔Sheets比較 バイブコーディングとVBA、GASプロダクト作成 課題1		第21週	excel スクショ スマートアート他挿入				
第7週	ピボットテーブル① 基本(集計の最短ルート)		第22週	excel 条件付き書式				
第8週	ピボットテーブル② 分析&スライサー／ピボットグラフ		第23週	excel スパークライン				
第9週	データ分析(相関分析)		第24週	excel ゴールシーク、シナリオ予測				
第10週	グラフ分析(トレンドライン／見せ方)		第25週	事例1「ダイエット意識調査」をword&excelで作成 課題6				
第11週	PowerPoint 実務スライド(Excel分析成果を伝える)課題2		第26週	事例2「医療費削減をお願いしよう」をword&excelで作成 課題7				
第12週	excel ソルバー分析 課題3		第27週	事例3「Jリーグ」をword&excelで作成 課題8				
第13週	excel データ分析(t検定・分散分析)		第28週	事例4「アンケート分析レポート」をword&excelで作成 課題9				
第14週	excel データ分析(カイニ乗検定・回帰分析)		第29週	ダッシュボード制作+バイブコーディングで制作物自動送信①				
第15週	ダッシュボード制作(PQ→ピボット→報告) 課題4		第30週	ダッシュボード制作+バイブコーディングで制作物自動送信② 課題10				
評価方法	・各課題提出(80%) ・規律(出欠、授業態度)(20%)							
教科書 教材など	担当教員によるスライド、Microsoft office・Google sheets+Docs							
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目			

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	英会話	学科名	ビジネス・コミュニケーション学科			授業方法	演習
担当教員	PARVIN MST SONIA	学年・学期	2学年	時間数	180時間	必修・選択	必修選択
授業概要・ 授業内容	This course is designed to help university students develop practical English conversation skills for everyday, academic, and social communication. Students will build confidence in speaking through pair work, group discussion, short presentations, question-and-answer practice, and interactive classroom tasks.The course begins with familiar personal topics such as daily life, hobbies, and future goals. It then gradually moves to more opinion-based and discussion-based topics culture and social issues.						
到達目標	By the end of the course, students will be able to:1.Introduce themselves and talk about familiar topics with greater confidence and fluency. 2.Describe personal experiences, daily life, interests, and future plans in clear English. 3.Express opinions and give reasons, examples, and simple explanations. 4.Ask and answer follow-up questions in pair and group conversations. 5.organize and deliver short presentations in English using an introduction, main points, and conclusion.						
授業計画・内容							
第1週	Self-introduction; Course guidance, greeting expressions, self-introduction language, pair		第16週	Review and speaking goals Reflection on Term 1, goal setting,			
第2週	Family and important people Describing family members, relationships, and		第17週	University or school life; Campus life, benefits and challenges,			
第3週	Present simple review, time expressions, daily habits		第18週	Learning styles and motivation Learning strategies, motivation, independent			
第4週	Hometown and local culture Describing places, hometown features, local		第19週	Social media and communication; Advantages and disadvantages,			
第5週	Preference expressions, reasons, hobby vocabulary		第20週	Culture and cross-cultural communication; Comparing customs, traditions,			
第6週	Food and eating habits; Food vocabulary, eating habits, restaurant		第21週	Environmental issues; Basic environmental vocabulary, causes,			
第7週	Travel and experiences; Past tense review, travel vocabulary,		第22週	Education and learning; Education systems, learning environment,			
第8週	Movies, music, and entertainment; Recommending media, giving opinions,		第23週	Work, careers, and success; Career planning, job skills, success factors			
第9週	School life and study habits; Talking about classes, studying, strengths		第24週	Stress and balance; Stress causes, coping strategies, work-life			
第10週	Friends and communication; Friendship vocabulary, communication styles,		第25週	Technology and the future; Predictions, future technology, impact on life			
第11週	Technology in daily life; Apps, devices, online habits, useful		第26週	News and current topics; Summarizing simple news, reacting to issues,			
第12週	Health and lifestyle; Healthy habits, advice expressions, exercise		第27週	Problem-solving and suggestions; Campus problems, persuasive expressions,			
第13週	Part-time jobs and work experience Job vocabulary, workplace tasks,		第28週	Persuasion and opinion speaking; Agreeing, disagreeing, persuasion language,			
第14週	Dreams and future plans Future expressions, goals, plans, ambitions		第29週	Final presentation preparation; Structuring presentations, practice, peer			
第15週	Review and Term 1 test Review of expressions, practice, speaking		第30週	Final presentation and Term 2 test Final speaking presentations and feedback			
評価方法	Evaluation will be based on the following: 1. Class participation and speaking activities 20% 2. Weekly mini presentations / speaking tasks 20% 3. Homework / reflection / preparation 25% 4. Final speaking test 25% 5. Class attendance and attitude 10%						
教科書 教材など	PREPARE Joanna Kosta and Melanie Williams SIDE BY SIDE BOOK 4						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	検定対策(英語)	学科名	ビジネス・コミュニケーション学科			授業方法	講義
担当教員	伊藤 シェリー	学年・学期	2学年	時間数	60時間	必修・選択	必修選択
授業概要・ 授業内容	記入Eiken and 璣璣EIC 璣kills Building Classする						
到達目標	To improve 4 English skills Reading Writing Listening and Speaking. Provide practice and building skills activities to improve these skills.						
授業計画・内容							
第1週	Pre Test and Introduction to Class		第16週	Second Term focus on the Speaking skills Eiken			
第2週	Introduction to the Class and Talk about what is		第17週	Practice speaking skills for the Eiken what are the basic skills			
第3週	Practice Eiken Listening Part 1 and 2 and Writing		第18週	Practice speaking with classmates about the Eiken			
第4週	Practice Eiken Listening Part 1 and 2 and Writing		第19週	Speaking Quiz on Speaking skills			
第5週	Practice Eiken Vocabulary skills and reading skills		第20週	Review of the Eiken 3 skills Reading Listening and			
第6週	Listening to Variety of news short videos on YouTube can you guess US or UK English		第21週	Short reading quiz. Check vocabulary and reading			
第7週	Building Writing skills how to summarize the paragraphs for Pt. 4 writing		第22週	Short Writing quiz Check writing speed and ability			
第8週	Building writing skills for how to answer the opinion question part 5		第23週	Discuss information for the second term exam			
第9週	Building more writing skills listening to YouTube		第24週	Take a practice Eiken test			
第10週	Practice more Vocabulary and Reading using online apps		第25週	Check which skills need to improve.			
第11週	Short Vocabulary quiz and writing quiz check test speed		第26週	Prepare for Writing questions			
第12週	Short writing Quiz check speed and ability		第27週	Prepare for Reading questions			
第13週	Prepare for the final exam go over the 3 skills		第28週	Prepare for Listening questions			
第14週	First term exam Reading Listening and Writing		第29週	Final Exam			
第15週	Last class before summer holiday Go over and		第30週	Last class go over exam. Talk about strong points and weak points			
評価方法	In Class test. Using Eiken style questions and speaking test						
教科書 教材など	Original Teaching materials. No textbook. Online Eiken Downloads and other vocabulary Apps						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	検定対策(マーケティング)		学科名	ビジネス・コミュニケーション学科		授業方法	講義	
担当教員	荒木 美英子		学年・学期	2学年	時間数	60時間	必修・選択	必修選択
授業概要・ 授業内容	公益社団法人日本マーケティング協会主催「マーケティング検定」の合格を目指し、マーケティングの基本理論から実践的な活用までを学ぶ。あわせて、Word・Excel・PowerPointの活用を通じて、情報整理力、分析力、提案力、発信力を高める。検定学習とOffice活用を連動させ、学んだ理論をレポート、表計算、プレゼン資料作成に落とし込む。							
到達目標	マーケティングの基礎概念を体系的に理解する。 マーケティング検定合格に必要な知識を習得する。 Officeソフトを用いて情報を整理・分析・可視化できるようにする。 消費者理解、市場分析、商品企画、販売促進を実践的に考える力を養う。 就職活動や社会人基礎力につながる企画提案力を身につける。							
授業計画・内容								
第1週	オリエンテーション 授業の進め方、評価方法、検定の概要、		第16週	消費者行動① 購買意思決定プロセス				
第2週	マーケティングとは何か 交換、価値、顧客満足、ニーズ・ウォンツ・デマンド		第17週	消費者行動② 文化、社会、個人、心理要因				
第3週	マーケティング環境分析① マクロ環境、ミクロ環境、外部環境の捉え方		第18週	マーケティング・リサーチ① 調査の目的、定量・定性調査の違い				
第4週	マーケティング環境分析② SWOT分析の基礎		第19週	マーケティング・リサーチ② 調査結果の集計と読み取り				
第5週	市場機会と市場細分化 セグメンテーションの考え方		第20週	データ活用と意思決定 表・グラフから課題を読み取る				
第6週	ターゲティングとポジショニング STPの全体像		第21週	販売計画とKPI 目標設定、成果指標、PDCA				
第7週	製品戦略① 製品の意味、製品ライフサイクル		第22週	サービス・マーケティング モノとサービスの違い、接客品質				
第8週	製品戦略② ブランド、パッケージ、差別化		第23週	デジタルマーケティング入門 SNS、Web、ロコミ、顧客接点				
第9週	価格戦略① 価格の役割、価格設定の考え方		第24週	地域マーケティング・実践応用 地域資源活用、地元企業との連携視点				
第10週	価格戦略② 値引き、心理的価格、価格と価値		第25週	検定対策① 基礎総復習 頻出語句、重要概念の確認				
第11週	流通戦略① チャネル、卸・小売の役割		第26週	検定対策② 分野別演習 STP、4P、消費者行動、流通、価格				
第12週	流通戦略② 店舗、EC、オムニチャネルの基本		第27週	検定対策③ 応用問題演習 文章読解型問題、事例型問題				
第13週	プロモーション戦略① 広告、販促、広報、人的販売		第28週	Office実践課題① Wordで報告書、Excelで分析、PowerPointで提案				
第14週	プロモーション戦略② AIDMA、AISAS、購買行動モデル		第29週	Office実践課題②・発表 小グループで企画提案プレゼン				
第15週	前期まとめ・到達度確認 前期内容の総復習、小テスト		第30週	総まとめ 検定直前対策、年間振り返り、到達度確認				
評価方法	定期試験・確認テスト: 30% 検定模擬試験: 20% 課題提出 (Word・Excel・PowerPoint) : 25% 発表・グループワーク: 15% 授業態度・参加度: 10%							
教科書 教材など	日本マーケティング協会 公式問題集 担当教員作成のスライド Word / Excel / PowerPoint 担当教員作成の模擬問題・実践課題							
実務経験						実務経験のある教員による 授業科目		

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	キャリアサポート	学科名	ビジネス・コミュニケーション学科			授業方法	講義
担当教員	井上 幸路、時實 好恵	学年・学期	2学年	時間数	60時間	必修・選択	必修選択
授業概要・ 授業内容	本授業は、就職活動における実践的な選考対策力の向上と、入社後に求められる基礎力の習得を通じて、円滑な社会人移行を目的とする。前半では、自己PRや志望動機の表現力を高め、面接対策や筆記試験対策、業界・企業研究の手法を学び、選考に対応する力を養う。後半では、学生と社会人の違いを理解し、挨拶・言葉遣い・ビジネスメール・報連相などの基本的マナーを実践的に習得する。あわせて、仕事の進め方やチームで働く力、問題解決力を演習を通して身につけ、主体的に成長できる社会人基礎力の定着を図る。						
到達目標	日本での就職活動に必要な実践的な選考対策力と、入社後に求められる基礎的な社会人力を身につける。具体的には、自己PRや志望動機を論理的かつ説得力をもって表現できること、面接や筆記試験に主体的に対応できる力を養うことを目標とする。さらに、ビジネスマナーや報連相、仕事の進め方を理解し、職場において円滑な人間関係を築きながら主体的に行動できる力を身につけることを目指す。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション 就活スケジュール 個別面談		第16週	社会人への意識転換① (責任・成果・時間の考え方)			
第2週	日本で働くための在留資格 技術・人文知識・国際業務と特定技能		第17週	社会人への意識転換② (お金・成長・やりがいの整理)			
第3週	特定技能の理解 特定技能1号・2号、外食・宿泊分野		第18週	ビジネスマナー実践① (あいさつ)			
第4週	技人国と特定技能の違い、比較 仕事内容、在留期間、家族帯同		第19週	ビジネスマナー実践② (報連相)			
第5週	日本で長く働くために (日本語・資格・マナー)		第20週	ビジネスマナー実践③ (電話)			
第6週	内定までの戦略プラン作成		第21週	ビジネスマナー実践④ (Eメール)			
第7週	選考対策① (性格適性試験)		第22週	ビジネスマナー実践⑤ (遅刻、ミス、クレーム対応)			
第8週	選考対策② (SPI総合演習)		第23週	ビジネスマナー実践⑥ (PDCA・優先順位)			
第9週	選考対策③ (一般常識)		第24週	職場でのコミュニケーション① (上司、先輩との関わり方)			
第10週	選考対策④ (学生時代に力を入れたこと作成)		第25週	職場でのコミュニケーション② (社外の人との関わり方)			
第11週	選考対策⑤ (企業別志望動機作成)		第26週	職場でのコミュニケーション③ (苦手な人との付き合い方、ストレス回避)			
第12週	選考対策⑥ (模擬面接 集団)		第27週	キャリアプラン作成① (キャリアとは何か 3年後、5年後の目標)			
第13週	選考対策⑦ (模擬面接 個人)		第28週	キャリアプラン作成② (発表準備)			
第14週	就職活動の振り返り		第29週	キャリアプラン作成③ (発表準備)			
第15週	後期のプラン作成		第30週	キャリアプラン作成④ (発表・振り返り)			
評価方法	定期試験、出席状況、提出物、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安: 定期試験(50%)・出席状況(15%)、提出物(15%)、授業態度(20%)						
教科書 教材など	テキスト:「にっぽんのカインシャ」 教材:プリント、ファイル						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2026年度 授業計画(シラバス)

科目名	日本語	学科名	ビジネス・コミュニケーション学科			授業方法	講義
担当教員	井上 幸路	学年・学期	2学年	時間数	240時間	必修・選択	必修選択
授業概要・ 授業内容	”学校生活のみでなく将来の就職活動や社会人としての生活に向けて、多様な文書作成能力を養い、人間関係構築のための口頭表現力を身につける。また、自分が関心を持つさまざまな話題について、明瞭、詳細に書くことができるようにする。 授業は日本語直接法による講義形式で行う。 学習項目に合わせ、宿題や確認テストを課し、理解度を深める。						
到達目標	JLPT・BJT レベル適切級に合格する。 日本語四技能を総合的に使えるようにする。						
授業計画・内容							
第1週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(1)		第16週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(12)			
第2週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(2)		第17週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(13)			
第3週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(3)		第18週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(14)			
第4週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(4)		第19週	日本語能力試験直前対策④			
第5週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(5)		第20週	日本語能力試験直前対策⑤			
第6週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(6)		第21週	日本語能力試験直前対策⑥			
第7週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(7)		第22週	BJT対策(聴解・聴読解・読解)(1)			
第8週	日本語能力試験直前対策①		第23週	BJT対策(聴解・聴読解・読解)(2)			
第9週	日本語能力試験直前対策②		第24週	BJT対策(聴解・聴読解・読解)(3)			
第10週	日本語能力試験直前対策③		第25週	BJT対策(聴解・聴読解・読解)(4)			
第11週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(8)		第26週	第22週～第27週までの確認テスト			
第12週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(9)		第27週	BJT対策(聴解・聴読解・読解)(5)			
第13週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(10)		第28週	BJT対策(聴解・聴読解・読解)(6)			
第14週	JLPTN2/N1対策(文法・語彙・聴解・読解)(11)		第29週	BJT対策(聴解・聴読解・読解)(7)			
第15週	期末試験		第30週	期末試験			
評価方法	定期試験を実施。 単元ごとの確認テスト及び毎授業時間の出席状況、授業態度と課題の提出とその成果などを総合的に考慮して成績を評価する。 ※評価目安: 定期試験と確認テスト・実力テスト・課題・授業態度・出席						
教科書 教材など	オリジナル教材(プリント配付) BJTビジネス日本語能力テスト公式模擬テスト&ガイド トライN1N2 JLPTの語彙N1・N2						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		